

# デーリー東北

## 2021年(令和3年)12月31日(金曜日) (13)

ロボットの性能や操作技術を競い合う学生ら



# 自作機操り技術競う

## 八工大ロボットコンテスト

八戸工業大(坂本禎智学長)工学部機械工学科は24日、同大で「第24回ロボットコンテスト」を開いた。出場した3年生60人が8班に分かれて設計、制作したロボットを披露し、性能や操作技術を競った。

同科3年生の授業「プロジェクト実習」の一環。指定されたルールの下、7月から設計、9月から制作に入り、試行錯誤を重ねてロボットを完成させた。

5分間の制限時間内に、3種類の高さがある円柱型のパイプを指定の場所に立て、その上に外径7・2センチのボールを載せるというルールで行われた。学生たちは、自分のフィールドに2台のロボットを配置し、巧みに操作して熱戦を繰り広げた。

優勝した班の班長を務めた田野岡直樹さん(21)は「制作段階で設計図通りにいかず、何度も改善を重ねた。積み重ねてきた成果を発揮して優勝できたことは素直にうれしい」と喜びを語った。

(松橋瑠偉)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。